

# 地域産業の振興対策の拡充

【担当省庁】経済産業省

## 奈良県における取組



令和5年度の皮革産業振興対策事業費補助金約450万円について、宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会に対し採択いただき、奈良県の皮革関連産業の振興を図ることができ感謝。

### これまでの主な取組

本県の地場産業のひとつである皮革関連産業は、小規模事業者が大半を占め、経営基盤は脆弱であり、国際競争力も乏しい。貿易自由化の進展の中で、産地の競争力強化の取組に対して、次のような支援を実施。

#### 《令和4年度》

##### ①新商品開発支援

###### 【履物】

和服とセットでレンタルされる草履の新デザインを開発

###### 【スポーツ用品】

野球用本革グローブのブランド新デザインロゴを開発

###### 【その他】

他社製品と差別化を図るための、商品紹介ホームページのWebデザイン開発や、商品外装パッケージのグラフィックデザイン開発 などを実施



受注生産の野球用グローブのブランドロゴのデザイン開発

※R4スポーツデザイン開発（新製品開発支援）

##### ②販路開拓支援

履物見本市開催事業、毛皮革ファッションフェア開催事業 など



「神戸国際展示場」にて、履物見本市を開催  
※R4 6月、10月、R5 1月実施  
(販路開拓支援、産地PR)

##### ③普及啓発

県営競輪において、「奈良はきもの杯」を開催し、県内産下駄を優勝選手の賞品とするとともに車券購入者にサンダルや軽装履等を無償配布（毎年度実施）



優勝賞品



車券購入者景品

### 現状

本県皮革関連産業の近年の経営環境は、個人消費の長期低迷、安価な海外製品の流入などにより極めて厳しいうえ、人材も不足している。  
加えて昨今の原材料費やエネルギー価格の高止まり、人件費の上昇などにより、さらに厳しい状況にある。

SNSの活用やオリジナルブランドの展開、大型展示会への出展による販路拡大などに活路を見いだそうという動きもあり、県も支援を続けているが、十分な成果を上げるには至っていない。

皮革関連企業の経営基盤の強化と産地の活性化を図るため、そして、速やかな業績回復につながるよう、より一層の支援が必要である。

#### 奈良県における皮革関連産業の状況

業種		平成30年	令和元年	令和2年	対H30
スポーツ用品	事業所数	12	8	7	▲41.7%
	従業者数	152	99	70	▲53.9%
	出荷額(百万円)	2927	2630	1808	▲38.2%
毛皮革・セーム皮	事業所数	9	9	8	▲11.1%
	従業者数	198	152	136	▲31.3%
	出荷額(百万円)	1302	1286	949	▲27.1%
サンダル及び軽装履	事業所数	13	11	4	▲69.2%
	従業者数	182	165	86	▲52.7%
	出荷額(百万円)	728	685	357	▲51.0%

(出典:令和3年経済センサス活動調査)

### 国にお願いすること

- ① 貿易自由化の流れの中で国際競争力を維持し、地域ブランド力を強化できるよう、**新商品開発、販路拡大などにかかる財政支援（皮革産業振興対策事業費補助金等）の継続・拡充**をお願いしたい。
- ② 一般消費者に対する産地や皮革関連製品のPRなど、**事業継続に向けた振興策の一層の充実**をお願いしたい。

【県担当部局】 産業・観光・雇用振興部地域産業課